

## 令和 2 年度市政懇談会についての概要

## 1. 開催日、場所、参加人数（職員除く）

令和 2 年度市政懇談会は計 6 回開催。参加者数は合計 203 人。それぞれ時間は概ね 1 時間半。

9 月 17 日（木）	豊田公民館	28 人
9 月 18 日（金）	中洲公民館	25 人
9 月 24 日（木）	湖南公民館	37 人
9 月 25 日（金）	四賀公民館	22 人
9 月 29 日（火）	文化センター	45 人
9 月 30 日（水）	文化センター	46 人

## 2. 意見交換要旨（ひろばに関するもののみ）

当日の意見交換においてのひろばに関する市民からの意見、市長の返答は下記のとおり。

	市民意見	市長返答
①	これまで工業メッセをやっているのに、メッセも考えながら施設をつくってもらいたい。スポーツを通じた健康促進拠点とあるが、スポーツはスタジアムなど今ある施設との連携を考え、あの場所は産業振興や投資により資金を集めるなど、いろいろ考えてもらいたい。	メッセについては商工会議所やものづくり推進機構の皆さんと意見交換しており、これまでのように 3 日間で一気にやるのではなく、ジャンルやテーマごとに日を分けて複数回開催するのはどうか、といったことも話している。施設について、数年前に下諏訪で大相撲諏訪湖場所を開催した時に大きな仮設テントを設置した例があるので、今研究しているところ。メッセは地域に欠かせない大事な遺産として続けていきたい。
②	以前、あの場所にリハビリ施設をつくるという話が持ち上がり、断念した経緯があるが、あらためてそういった施設をつくる考えはあるか。	山田前市長の公約だったと思うが、リハビリセンターは医療であり、病院をつくるということ。となると県の医療計画の中に位置付けられる必要がある。今、日赤や開業医の医師間との連携が良く取れている中で医療が提供できているのであれば、現時点でリハビリセンターという考えはない。これまでの有識者会議でも話は出なかった。
③	ここは諏訪市民の長年の夢と希望である。公共主体でやるということについては大賛成であり、一歩でも二歩でも前に進めてもらいたい。現実問題として建屋を取り壊し、スポーツ協会から要望が出ている体育館としても使えるコンベンションセンターをつくるとなると、数十億から百億かかるのではないと思う。お金の問題についての考えを訊きたい。 民間の活用はいいことだと思うが、市長の人脈でめどがついているのか。人口 5 万人を切る諏訪市だけで単独事業としてできるものではないことを市民とシェアしてもらい、何とか形にしてもらいたい。	ご指摘のとおり、建屋を取り壊すだけでも、数億円かかると思う。また、土地を整備するのにも一定の期間とお金がかかると思う。新たに整備するものについては必要に応じて分相応なものとする。今と同じ規模で 365 日稼働しながら維持管理することは非常に厳しい。商工会議所からも、商工会館が建て替え時期に来ており、あの場所に入ることができないかとの打診もある。そうした産業に資する機関が集積することへの期待を持っている。メッセも 6 市町村の商工会議所・商工会が主体となってやってきたものである。その延長線上で 6 市町村の協力関係を築くことによって、県や国の協力を得られるように考えていかなければいけない。補助金や起債も想定し、ふるさと納税やクラウドファンディングなど、あらゆる知恵を考えながら有効な手段により整備していきたい。いずれにしても、目的を決めて中身をしっかり考えて、それに見合ったものからスタートしていき、賛同が得られれば大きくしていくこともあるだろうし、PFI や PPP（官民連携）の手法も想定しながら整備していきたい。

④	<p>展示会場としてつくるのはいいが、市役所も大分古いので、市役所と商工会議所を併設して行政と産業の拠点にするのがいいと思う。余った土地は売ればいい。</p>	<p>あの土地は湖畔に残された一等地であり、市が平成 18 年に購入した。今、あらゆるところで災害が発生しているが、がれき置場や雪捨て場としてのユーティリティスペースが街中にあることが価値だと思う。仮設住宅を建てることもできる。現在、花火大会の観覧席や大型バスの駐車場スペースとしても活用している。何かしらの有効利用に取り組んでいきたい。そのうえで二進も三進もいかなかったら最終手段として売却ということもあるかもしれない。</p> <p>市役所庁舎の建替えについては、市長に就任後基金を積み立て始めた。少なくとも 10 年は積み立てる必要があると思うが、他にも事業を複数抱えている。時期をみながら考えたい。</p>
⑤	<p>市民が集えるよう、イベントひろばとして確保しておくのがいいと思う。</p>	<p>工業メッセも 20 回までは開催が決まっている。色々な形で使われるように考えていきたい。</p>
⑥	<p>諏訪市は素晴らしい観光資源を持っている割にインバウンドについて遅れている。観光面と組み合わせた施設ができればいい。知り合いの中国人は人間ドックに興味を持っていて、中国から人間ドックを受けるために来日している。長野県の観光と組み合わせると諏訪日赤でのドックはどうかと中国の旅行会社に話してみたが、一番のネックは交通。東京・大阪と違って直行便がない。通訳も課題となる。病気について通訳できる人が必要となるが、諏訪市は中国人が多く住んでいるし、国際文化学院もあるので、その辺でも考えてみたらどうか。</p>	<p>コロナで世界中が膠着状態だが、薬が開発されたり、また来年はオリンピックも予定されているので、時期が来れば人の動きも増えてくると思う。インバウンドについてはしっかり対応していかなければいけない。</p> <p>観光ランドデザインをつくるのが公約の一つとなっている。諏訪市の観光はこうあるべきという未来図を持ってそれに必要なものを整備していくこととしたい。同時進行でサイクリングロードも整備中である。</p>
⑦	<p>長野市や松本市などは人口が多く施設的にも恵まれていると感じる時がある。6 市町村の合併が実現して一つにまとまれば、もう少しパワーが出て人が集まるイベントができるのではないかと。メッセも多くの企業が参加して工業の地位が高くなる夢のあるイベントである。工業メッセはできるようにしてもらい、観光も力を入れていくべきであるが、6 市町村の合併論議の復活について聞きたい。</p>	<p>6 市町村の合併が当時実現できていたら、今が随分違っていたと思う。行政の効率化が進んだと思う。次のチャンスを推し量っているのが現状であるが、実態は困難になっている。スポーツにおいても、あるスポーツの団体が諏訪市に無いので茅野市の団体に所属しているとか、野球でも一校ではチームが作れないので、他校とチームをつくっているとか、硬式野球となると市町村を越えてチームをつくっているところもある。民間の実態に行政が追いついていない。施設整備についても、人口 5 万人を切るような自治体がフルセットで用意することは不可能な時代である。だから共同で使えるものは使おうという発想が必要不可欠になってくると思う。社会の状況が変わっている中で自治体のあり方も変わっていくべきだと思う。住民の理解が進めば合併の可能性はあると思っている。広域連合や一部事務組合で連携している事務は増えてきている。メッセも 6 市町村でやっているの、イベントひろば活用でも何らかの形で協力体制により進めていくことを念頭に置いている。</p>
⑧	<p>宿泊施設は、諏訪盆地の中で圧倒的な</p>	<p>それは民間提案の部分になる。ただし遊園地つくります、投資をしま</p>

	<p>キャパシティを持っているにも拘らず活用されていない。観光の目玉がないと前々から思っていた。遊園地をつくったらいいのではないか。それが人を呼ぶ素材になり、観光客に使ってもらえば年間通じて活用できるのではないか。</p>	<p>すといっても採算が取れなければビジネスとして難しい。民間提案があるのなら見極めていきたい。</p>
⑨	<p>建替えを前提にした説明だったが、過去のあり方検討会ではリノベーションを前提に進めていきたいという発言だったと思う。建替え前提は決定しているのか。いずれのケースでも多額の費用がかかるが、民間活用の場合に、通常は市民と一緒にビジョンを作ることが先だと思うが、参入する事業者を探すことが優先されて地域外の企業が誘致されてしまわないか心配になる。</p>	<p>これほど広いスペースは日本全国でもそうはないし、映画やCMの撮影でも使われているが、維持費と老朽化を考えたときに、専門委員会では取壊しが妥当との判断が出された。</p> <p>小さく産んで大きく育てることを考えている。参入する企業がなければそれでもいいが、産業分野だけは行政で核となるものをつくっていくべきだと考えている。民間提案分野は専門委員会や市民のみなさんの意見を聞きながら、相応しいものであれば取り入れていきたいが、民間がいなければやっていけないという発想ではなく、今までと同じ大きいものというのではなく、先ずは産業を支える機能をコンパクトでいいので入れていくということ。</p>
⑩	<p>建屋の解体理由として、「現在の建物では活用方法に限界がある」とのことだったが、コンセプトや機能では「ものづくり」という言葉が多く使われている。ものづくりが諏訪のブランド、伝統であることは理解するが、これからのものづくりは、新しいものをつくっていくのではなくて今あるものを活用することも、これからのものづくりになっていくのではないかと思うがどうか。</p> <p>今後のスケジュールでは、パブリックコメントが基本計画策定の直前しかない。この1回しかない理由と、ここで出された意見は基本計画に反映されるのか。</p>	<p>ものづくりといっても広範囲であり、諏訪には製造業のほかにも、味噌や日本酒の醸造業もある。諏訪地域が伝統的・遺伝的に産業として引き継がれてきた知恵や繊細な技術を研究しながら新しい技術に挑戦したり、世界最先端のものを生み出したりするところに地域性があると思っている。このことはしっかり引き継がなくてはいけないので、ショールーム的に見せることは可能性としてあると思うが、そのためにこの古い建物を使わなければならないかということは別の問題であると思う。1ヘクタールもある建物を維持し活用していくのは大変なこと。</p> <p>パブコメは1回を予定しているが、その前段において皆さんの意見はいつでもいただくことが可能である。</p> <p>(企画部長)</p> <p>本日の市政懇談会も意見を聞く場であるし、パブコメも今は1回で考えているが、状況によっては複数回もあり得ると考えている。様々な形で市民のみなさんの意見を聞いていきたい。</p>
⑪	<p>健康促進拠点とあったが、諏訪で一番の売りである温泉、隣には日赤がある。温泉を使ったリハビリ施設をつくって全国から集客する。また、諏訪湖は競艇という発想はどうか。サイクリングロードも整備するので、それらを柱にしながら、いかにリピーターを増やすか。温泉を使わない手はない。</p>	<p>温泉リハビリ施設は、前市長の選挙公約だった。しかしながらそれを誘致した時に、誰が経営して採算が取れるかという問題はあった。また、医者や看護師、医学療法士などの専門職を集めるのは非常に大変である。医師会との調整もある。今後サウンディング調査をしていくが、今日はアイデアとしてお受けするに留めたい。</p>
⑫	<p>自分は諏訪に移住してきたが、自然が多かったり空気が澄んでいたり魅力である。しかし地球では気候変動が起きている。ひ</p>	<p>工場のような出力が大きいエネルギーが必要なところは太陽光発電では間に合わないの、電力を買うことは仕方がないが、家庭では自然エネルギーの活用がトレンドである。持続可能な地球にしていく</p>

	とつひとつの行動をする際には地球をどうしようかという大きな規模で考えていくのがいいのではないかと思う。年々状況は悪くなっているので、跡地活用についてどういうアクションがとれるか念頭において進めてほしいし、現時点でどう考えているか聞きたい。	ために必要な取組は様々な場面であると思うので意識していきたい。
⑬	2年半前に東京から移住してきたが、こんな面白いプロジェクトがあることを初めて知った。一市民として議論に参加して提案したいが、そういう場があるのか。このプロジェクトリーダーはどのような人なのか。リノベーションやカルチャーに関して参考になる国内外の事例が載っていないので、是非情報提供したい。	今中心に議論している専門委員会の座長は平尾さんという方で、長野経済研究所という八十二銀行のシンクタンクの調査部長をされていた方。かつては松本市長に請われ商工観光部長も務められた。今は長野県観光機構の統括をされている。また、地域経営プラチナ研究所の社長でもある。他には副市長、商工会議所や観光協会からもメンバーとなっている。委員会はオープンで傍聴可能。ヨーロッパでは古い建物をリノベーションしていることは承知している。建屋も地元出身の著名な建築家に見てもらって事例を紹介してもらったが、行政として1ヘクタールもの建物であるので、市民のみなさんとの意見交換していきたい。
⑭	市民に意見を聞く機会を増やしてほしい。岩手県紫波町のオガールや広島県福山市・熊本市の駅前再開発ではデザイン会議があり、100回にわたる市民ワークショップが開催され、大規模開発の骨格をつくっていくことが成功事例としては一般的になっている。国内の成功事例で参考している点があれば聞きたい。デザイン会議を設定する予定はあるか。	まだそこまで至っていない。これから基本計画を策定する。その後もいくつかステップを踏んでいくことになる。すわっチャオの時も9回のワークショップを重ねて骨格をつくった。同様に皆さんからの意見を伺ってきたい。
⑮	ワークショップの進め方についても、市がやるのか民間がやるのかによって成果が大きく左右されると思う。すわっチャオの2階も空きがあってイベントひろばも同じようにならないか危惧している。	すわっチャオは3階のワンフロアであり、他は民間施設である。ワークショップは決定しているものではないが、基本計画がないとしっかりした議論ができない。その上で具体的なものが見えてきたときにワークショップが必要かどうか、市民のみなさんの意見を取り入れるか考えていきたい。
⑯	基本計画ができてしまうと、その中でしか市民の意見が反映されないということになる。今日の意見を承知してもらってこれからの手続きに反映してほしい。	そうした皆さんの積極的な意見を聞く場は設けたいと考えている。デザイン会議はその先になると思う。
⑰	建屋は規模を縮小して新築するとのことだが、新しく整ったまちはきれいだが、帰ってきたいと思わない。駅前の古い町並みが好き。テナントが入らないがらんだ建物は勿体ない。もっと柔軟に考えられたいのでは。自分と同世代の若い人たちの中にも同じようにもやもや感じている人がいるの	駅前通りも看板建築として有名であり、保存していこうという動きもある。古い家屋を今風にリノベーションして営業されているところもある。しかしこの建屋は規模が違う。それをそのまま残して維持することが諏訪市にできるのかできないのか。一部の意匠を残したいということで提案してもらうことは可能である。これまで10ヶ所の展示場を視察したが、イベントホールだけで採算が取れているところはない。都会では可能かもしれないが、建物さえつければ人が集まるという時代

	<p>で、今回だけでなく、若い人が集まれる場があればいいと思う。</p>	<p>ではない。どんな中身があるのか、それに相応しいものを用意するという発想。小さく産んで大きく育てたい。最初から身の丈を超えたものをつくって運任せにはできない。</p> <p>日本は上意下達で補助金行政であったために、どこも同じようなものができていた。21世紀に入ってその土地の背景を持ったオリジナリティのあるまちをつくっていく方向になっている。諏訪という歴史や環境を大事にし、それをみんなが感じられるまちにしていきたい。</p>
<p>⑱</p>	<p>駅周辺市街地あり方検討会と基本計画委専門委員会の資料を見返したが、その中では文化センターエリアと旧東バル跡地の運動性を考えていくことが書かれている。隣接しているので課題として検討されると思っていたが、この運動性ということはなくなったのか。</p> <p>文化センターエリアもいろんな施設があり、駐車場の配置が分かりにくい。生涯学習施設の統廃合の際は、東バル跡地も活用しながら、より使いやすくしてもらいたい。</p>	<p>もちろん運動性はある。文化センターも耐震設計に入ってリフォームしていくが、文化財として残さなければいけない部分と活用する部分があるので、そこに古くなって除却する施設（の機能）を取り込めるか考えていく。2年前に文化センターで国際会議を開催したが、例えばひろばに国際会議ができるようなものを備えるといった可能性もある。間に流れる衣之渡川も手を入れたいが県の管理になるので、関係者と連携しながらまちを良くしていきたい。一度にやることは無理であるので、時間はかかるが、場当たりのでなく全体像をつかんでいくことが大事であると考えている。</p>

### 3. アンケートに記載された意見（ひろばに関するもののみ）

市政懇談会当日、時間の都合上希望する方が質問出来ない状況があり、多くの意見がアンケート用紙に記載された。アンケート内容本体は公開していないが、諏訪湖イベントひろばに関する記載の概要は下記の通り。

- 諏訪圏 6 市町村の検討が不可欠
- 文化センターとの連携による効果的活用ができるのではないか
- 市民や旅行者が行きたくなる、楽しめる場所にしてほしい
- 中小企業の手助け、全国からの受注を受けるなど工業の基盤を作ってほしい
- 類似事例を参考にしているか。PPP 実現にあたり、先に事業者や収支計画を計画していたが、ここについては事業者の心当たりがあるか。
- コワーキングについて、すわっチャオのもの（TSUNAGU）の稼働率踏まえ、収支を見込めると考えているのか。
- 若者にも希望が持てる形にしてほしい。
- 人口減少、少子高齢化が進む予測をしていることから、将来に大きな負担を残さない計画になる事を望む（自治体規模に合ったもの）。
- 今後数年かかってこの場所の利用方法を練り上げていくべきでは。慎重に計画を策定してほしい。
- 気候変動対策等のコンセプトのようなものがあつた方がよいと感じた。
- 公共整備部分、民間整備部分のデザインがバラバラにならない、まとまりのある場所になることを望む。
- アクセスしやすい道路整備もお願いしたい。
- 隣接する日赤と連携した再開発を望む。
- 方向性が決まっていなが、解体するということか。
- 元々の土地にあつた歴史のつまつた建物を利用しているという点を魅力を感じる人が多いと感じないか。
- プロデューサーに心当たりはあるのか。

- 今あるものの活用がこれからのものづくりでは。
- 目的にあった新築というが、色々使えるリノベーションがよいのでは。
- 解体後も工業メッセのようなものができるのか。
- 維持できるようにはコンスタントに収益が得られる事業を検討すべき。
- 憩いの場として、水辺公園としての整備が必要ではないか。
- 市民の意見を反映できる場所、機会が欲しい。
- 跡地は解体するとしても、次の施設はじっくり考えてもいいと思う。
- 小中一貫校をつくるのはどうか。統合した際の建設先として。
- 規模が大きく広域としての資産になる。広域連携をお願いしたい。
- 有名建築家をお願いして大幅な費用増加になることが心配。
- リノベーションのほうが認知度が進むのでは。
- カーボンニュートラルといった考えを取り入れる予定はあるのか。
- 次世代経営者支援をするのであれば、次世代経営者との意見交換機会を作ってほしい。
- 既存施設をここに移設して拡張する可能性はあるのか。